

名古屋港(一部変更)

1. 概要

外貿コンテナ貨物を効率的に取り扱うため、金城地区及び西部地区において、公共埠頭計画、水域施設計画及び大規模地震対策施設計画を変更する。



2. 港湾計画の主な内容

〈金城地区〉

[公共埠頭計画]

金城ふ頭

コンテナターミナルとしての位置付けを廃止し、輸送機械や産業機械等を取り扱う多目的埠頭に変更する。

【既定計画】

水深 10.5m 岸壁 2 バース 延長 500m (コンテナ船用)

【今回計画】

水深 10.5m 岸壁 2 バース 延長 500m

[既設の変更計画]

〈西部地区〉

[公共埠頭計画・大規模地震対策施設計画]

飛島ふ頭

基幹航路に対応した効率的なターミナル運営を実現するため、第 3 バースの水深を 12m から 16m に変更し、水深 16m 延長 1,050m の連続バース化する。

【既定計画】

水深 16m 岸壁 2 バース 延長 800m (コンテナ船用) 耐震

水深 12m 岸壁 1 バース 延長 250m (コンテナ船用)

【今回計画】

水深 16m 岸壁 延長 1,050m (コンテナ船用) 耐震

[既設・既定計画の変更計画]

鍋田ふ頭

利用実態を踏まえて、第 3 バースを水深 14m 延長 350m から水深 12m 延長 250m に変更する。

【既定計画】

水深 14m 岸壁 1 バース 延長 350m (コンテナ船用) 耐震

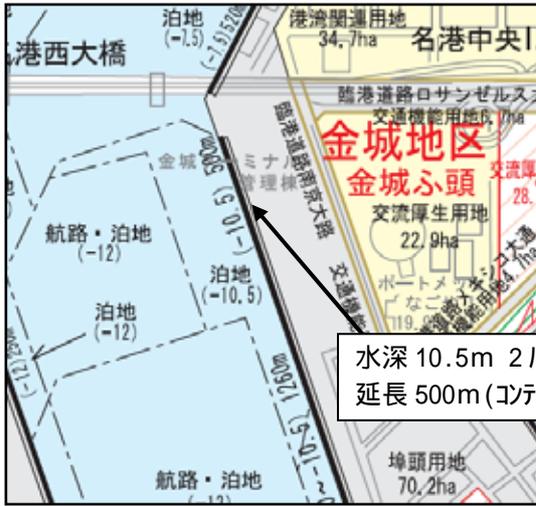
【今回計画】

水深 12m 岸壁 1 バース 延長 250m (コンテナ船用) 耐震

[既定計画の変更計画]

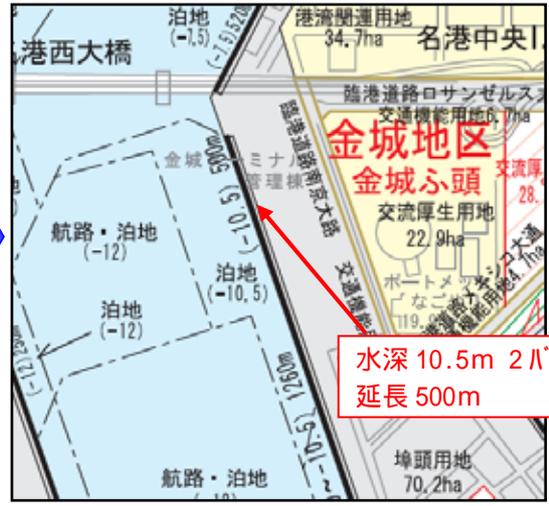
なお、当変更併せて、泊地及び航路・泊地の水深、面積を変更する。

【既定計画図】(金城ふ頭)



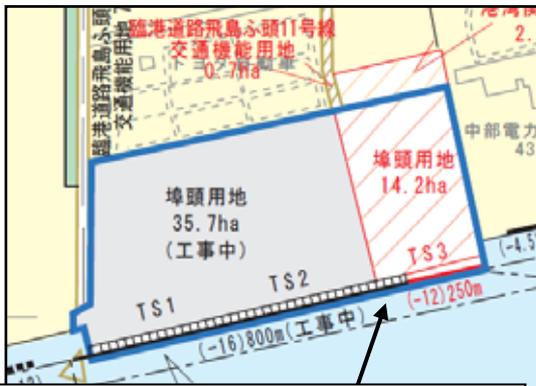
水深 10.5m 2バース
延長 500m (コナシ船用)

【今回計画図】(金城ふ頭)



水深 10.5m 2バース
延長 500m

【既定計画図】(飛島ふ頭)



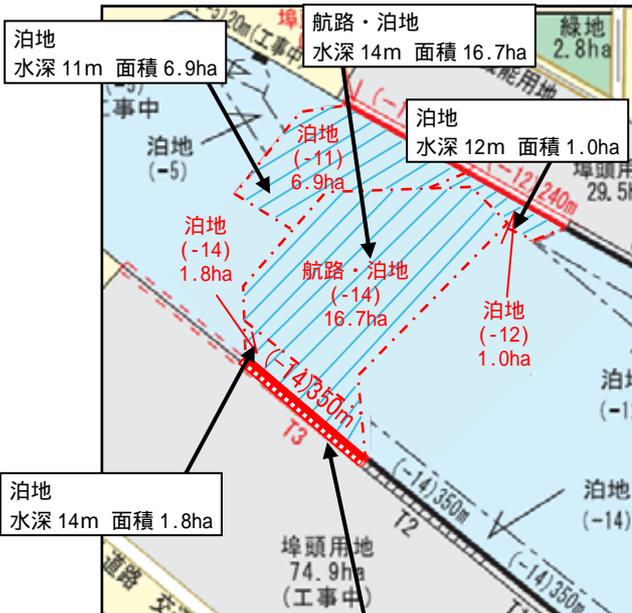
水深 16m 2バース 延長 800m (コナシ船用) <耐震>
水深 12m 1バース 延長 250m (コナシ船用)

【今回計画図】(飛島ふ頭)



水深 16m 延長 1,050m (コナシ船用) <耐震>

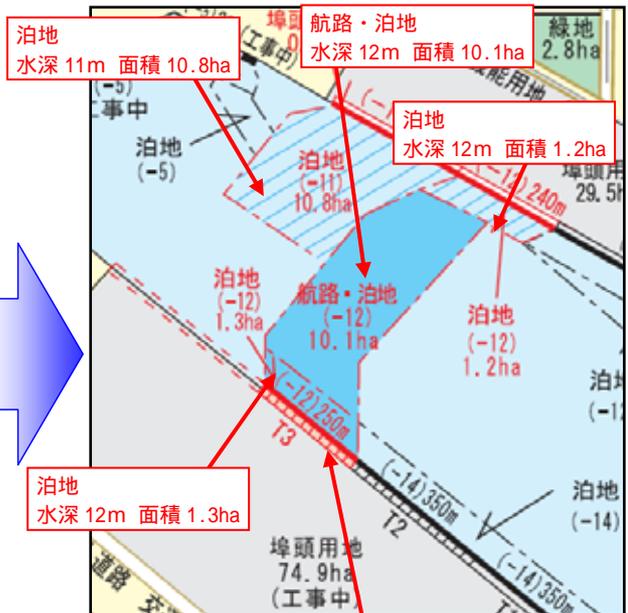
【既定計画図】(鍋田ふ頭)



泊地
水深 14m 面積 1.8ha

岸壁
水深 14m 1バース
延長 350m (コナシ船用) <耐震>

【今回計画図】(鍋田ふ頭)



泊地
水深 11m 面積 10.8ha

泊地
水深 12m 面積 1.2ha

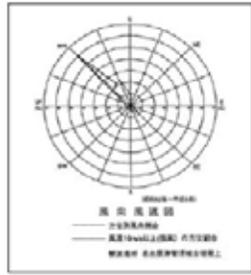
泊地
水深 12m 面積 1.3ha

岸壁
水深 12m 1バース
延長 250m (コナシ船用) <耐震>

港湾管理者連絡先
名古屋港管理組合 企画調整室 計画担当 鈴木
電話：052-654-7911, ファックス：052-654-7997

名古屋港港湾計画図

名古屋港港湾計画図 (西部地区)
1:25,000
1,000m 0 1,000m



凡 例	
	航路・泊地 (今回計画)
	(既定計画)
	(既 設)
	防 波 堤 (既定計画)
	(既 設)
	公 共 岸 壁 (既定計画)
	(既 設)
	公 共 耐 震 強 化 岸 壁 (今回計画)
	(既 設)
	専 用 岸 壁 (既定計画)
	(既 設)
	ドルフィン (既 設)
	係 船 浮 標 (既 設)
	(撤 去)
	小 型 棧 橋 (既定計画)
	海 浜 (既定計画)
	埠 頭 用 地 (既定計画)
	(既 設)
	緑 地 (既定計画)
	(既 設)
	交 通 機 能 用 地 (既定計画)
	(臨 港 道 路) (既 設)
	交 通 機 能 用 地 (其他道路)
	(既 設)
	そ の 他 の 用 地 (既定計画)
	(既 設)
	効 率 的 な 運 営 を 特 に 促 進 す る 区 域
	将 来 構 想 (岸 壁)
	(道 路)

: 今回変更箇所